



CHIE FUKUDA

福田ちえの市政だより

発行:福田ちえ後援会 事務所:宇都宮市六道町 12-38 電話:028-636-2582 FAX:028-636-2559
<http://www.f-chie.jp/> ☒info@f-chie.jp facebook 福田ちえ twitter @fukudachie

6月議会で一般質問 ●次回12月議会に登壇

【質問・提言】

- 1 地域包括ケアシステム構築に向けて
 - (1) にっこり安心プランの理念について
 - (2) 地域資源と地域実状の把握と分析について
 - (3) 地域包括支援センターについて
 - (4) 協議体と生活支援コーディネーターについて
 - (5) 空き家・空き地の積極的な活用について
- 2 行政データの活用及び提供について
- 3 要支援児童対策について
- 4 困難を抱えるこども・若者対策について
- 5 教育行政について

👉 議事録は、宇都宮市議会HP→[会議録](http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/)で検索できます
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/>

6/17 本会議で質問(一問一答方式)



重点政策

- 在宅介護の仕組みの充実
- 子育て子育て環境の整備と充実
- 福祉都市宣言を生かした市政運営
- 仕事と生活の調和と雇用環境の整備

～住み慣れた場所で住み続けるために～

健康長寿調査特別委員会 委員長報告

委員長を務める健康長寿調査特別委員会(議員15名)は昨年6月に設置され、「超高齢社会における介護、医療、健康づくり」についての調査を行ってまいりましたが、この度、調査報告がまとまったため、9月議会で報告し、市長へ提言しました。

限りある事業費の中から市町村が介護予防と生活支援サービスを提供できるよう、地域支え合いやボランティア・NPO等、住民主体のサービスを最大限に活用した地域の基盤整備が課題です。高齢者に限らず障がい者や難病・子ども・若者・引きこもり青少年など、**全ての生活者がともに支え合って生活するまちづくり**が求められています。市は早急に**地域包括ケアシステムのグランドデザイン**を市民に示し、**関係部局の組織横断的な連携強化**と、**予防と支え合いのまちづくりを推進**するよう要望しました。



8/26 特別委員会 委員長報告



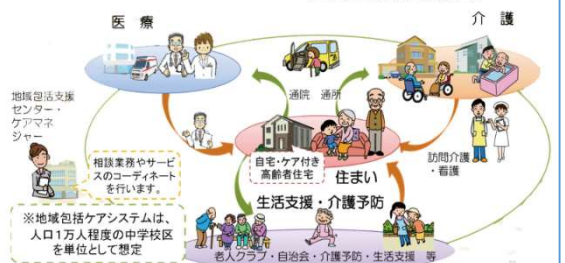
8/26 市長へ調査結果を提言



7/7 市医師会・市薬剤師会の要望書を市長へ、福田智恵が仲介
 左から市薬剤師会、市医師会 福田ちえ 保健福祉部長 市長 担当課長

地域包括ケアシステム

高齢者が人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために必要な支援体制



子どもの貧困率16.3%（相対的貧困率）

「相対的貧困」とは、その地域や社会において「普通」とされる生活を享受することができない状態のことを言います。日本では6人に1人の子どもが貧困に直面している計算です。ひとり親世帯の子どもの2人に1人は貧困であり、「格差」（年齢や男女別、就業形態など）に起因しています。所得が低い家庭の子どもが低学力・低学歴となり、将来不安定な就業に陥ることで、次の世代にまで貧困状態が連鎖していく。この問題に対して、国や自治体は予算を割き、貧困を連鎖させない政策を進めています。十分ではありません。子どもの貧困問題は経済的に苦しいといった問題に留まらず、不登校や学力低下、虐待など子どもの成長にマイナスの影響を与えます。

「子どもの貧困対策」

「困難を抱える子ども・若者への支援」は、アナタ自身の将来に関係します。

そうした問題を放置することは、将来の社会保障の担い手や労働力を失うことにもつながり、社会にとっても大きな損失です。

子どもが成長するために必要な、学習の場の保障と、自分の役割があり認められる経験、寄り添い話を聞いてくれる人などのいわゆる「居場所」が必要です。身近な地域に、子ども食堂や学習支援、中間就労などの「居場所」があつて、地域の支え合いが進むよう尽力するとともに、行政へ提言し続けます。

【第9回 ふれあいバス旅行】募集中！

**鮮やかな紅葉が上田城跡を彩る秋
この機会に是非ご参加ください！**

～小諸ワイナリー＝昼食＝真田丸ドラマ館＝
上田城址～ ◎各地6時頃より迎え、出発7時

【日 程】10月23日(日)日帰り

【参加費用】9,000円(見学・昼食代、お土産を含む)

【募集人員】一般バス2台 80人、出会いバス1台

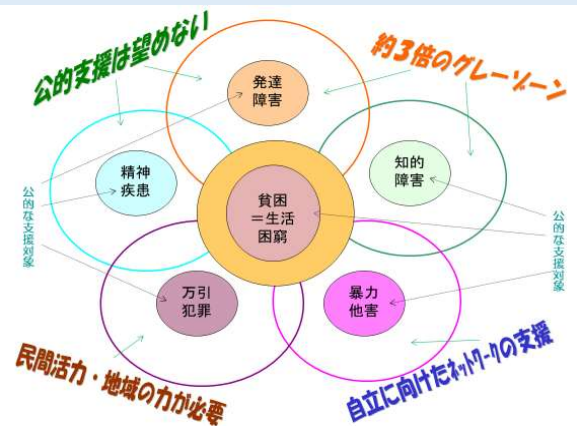
※出会いバス：独身40人(男性20人・女性20人)

【締切日】10月10日 電話・ファックスで

【問合せ】福田ちえ後援会(TEL.028-636-2582)

※早めのお申込みは、とても助かります(*^-^*)

困難を抱える 子ども・若者支援



6月 議会質問 若者層の困難な状況を生じさせる要因には、経済状況を始め複数の要因が複雑に絡み合い、発生する困難な状況も多様化していることが問題として挙げられる。ニート、引きこもり、不登校、貧困など、子ども・若者の抱える問題は深刻化しており、公的支援は望めない、グレーゾーン当事者への関わりには限界がある。宇都宮市は家庭訪問して支援するアウトリーチの支援が弱く、行政や医療機関、民間支援団体などの多くの機関・団体の連携・協力が必要であり、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を支援するためのネットワーク整備が急務である。加えて義務教育中は把握が容易であるが、次の進路に進む際や、中退などの実態把握は難しい実態がある。このような現状を踏まえ、6月議会に於いて「宇都宮市子ども・若者支援地域協議会」の早期設置を提言した。

質問の成果 市はこれまでの構成組織を見直し、専門部署や機関団体・民間団体と調整し、8月協議会が設置された。

※栃木県の高校中退者 871 人のうち、宇都宮市の推計は 229 人 (H26 年度)、若年無業者の推計は 2,000 人

福田ちえ ● PROFILE

1965 (S40) 3.16 生まれ O 型 同居の家族：夫、娘3人、義母
宇都宮市立西原小学校～宇都宮市立一条中学校～栃木県立宇都宮工業高校～日本工業大学システム工学科卒業 (1987.3)

●これまでの主な経歴

1987～1993 年 足利システムサービス(株) (足利銀行グループ)

2001～2005 年 衆議院議員 水島広子秘書

2014～2015 年 老人デイサービスセンターにしはら

2015～2016 年 宇都宮中央ライオンズクラブ会長

西原小学校 PTA 会長／一条中学校 PTA 副会長／宇都宮市 PTA 連合会 常任理事／同 教育課題特別委員会委員長

●議会

2007 年 統一地方選挙 宇都宮市議会初当選

以降 2011 年、2015 年 宇都宮市議会議員当選 (3期)

◎文教消防水道常任委員長 (2011.6～2012.6)

◎建設常任委員会委員長 (2012.6～2013.6)

◎環境経済常任委員会副委員長 (2016.6～)

◎健康長寿調査特別委員会【委員長】

市街地開発組合議会議員／社会福祉審議会 高齢部会

●現在の主な役職

一条中魅力ある学校づくり地域協議会／西原小魅力ある学校づくり地域協議会／西原宮っ子ステーション運営委員会会長／チャレンジと愉快な仲間たち代表／村田発條労働組合特別相談役／JAM組織内議員団／栃木県地方議会女性議員連盟／ときめく未来へ参画会議実行委員